

拡大アカデミー委員会

- 担当副理事長名：片根 竜哉
- 委員長名：永田 磨梨奈
- 副委員長名：三橋 肇
- 委員名：石井 政彦、岩濱 サラ、竹村 眞、メタ バラッツ、成瀬 英治朗
- 作成者名：永田 磨梨奈

1. 委員会活動方針

1965年の設立以来、諸先輩方が「明るい豊かな社会の実現」に向けて、活動の幅を広げてきた鎌倉青年会議所は、現在、メンバーが減少傾向にあります。個が重視され、地域の結び付きが弱くなっていると言われていた今こそ、利他の精神でまちづくりに励む青年会議所運動が地域には必要であります。そのために、我々は地域のリーダーと成り得る若者が一人でも多く集う組織を目指すべきであると考えます。そのために、当会議所の価値を学び再認識し、個人としても、組織としても成長し続けることと、地域に対して積極的に拡大活動を行うことを両輪で行う必要があります。

そこで本年度、拡大アカデミー委員会が率先して拡大活動を行い、多くの出会いを通じて、切磋琢磨し成長し合える機会を提供することにより、メンバーひとりひとりが拡大活動の担い手であるという意識を持てる気風を生み出します。次に、多くの方が当会議所を知るきっかけとなるよう、当会議所の価値や想いを伝える事業を行います。そして、私たちが継続的に力強い運動を展開し続けていく為に、経験年数の少ないメンバーが当会議所の価値を早期に理解し前向きに活動することができ、全てのメンバーそれぞれが活動への意義を抱き主体的に活動できるよう、当会議所活動の価値や想いをより深く理解する為の研修を行います。最後に、鎌倉にはまちへの想いの強い若者が点在しており、共に活動することで当会議所運動の可能性は無限であると考え、まちの若者たちとの交流の機会を設け、青年会議所運動や、まちの未来を共に描く同志を得るためのきっかけを作ります。

これらの事業を行うことによって、青年会議所運動とまちについて学び、組織とまちについて考えることができ、地域のリーダーと成り得る人材へと成長したメンバーひとりひとりが積極的に拡大活動を行う事で、継続的に「未来思考」で当会議所運動を展開し続けることができます。そしてそれは、我々が目指している「明るい豊かな社会の実現」の一助となると確信します。

2. 委員会事業計画

(I) 会員拡大と継続拡大基盤作りの実施

- (a) 内 容：会員拡大活動並びに継続拡大できる基盤作り
- (b) 時 期：2020年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、対象者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 鎌倉青年会議所運動の価値や想いを伝える事業の実施

- (a) 内 容：講演会の開催
- (b) 時 期：2020年 4月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 鎌倉青年会議所運動に意義を抱けるようになるための事業の実施

- (a) 内 容：青年会議所運動を学ぶ研修事業
- (b) 時 期：2020年 8月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(IV) 若者たちと語り運動やまちの未来を考える事業の実施

- (a) 内 容：交流会の開催
- (b) 時 期：2020年11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(V) 経験年数の少ない会員の研修事業

- (a) 内 容：各種青年会議所大会でのブース出展
- (b) 時 期：2020年 1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加